

# 昼生小だより

令和5年2月9日 No.27

## 4月から複式教育が始まります！

これまでに、1学期の地区集会や「学校だより No.16」（昼生小学校ホームページにも掲載しています）などでもお知らせしてきましたとおり、新年度から昼生小学校での複式教育がスタートします。そこで、これまでにお知らせした内容と重複する部分もありますが、来年度以降の複式教育について整理をしておきたいと思えます。

複式学級の設置は、国や県の学級編制に関する法律で定められている「2つの学年の児童数の合計が16人以下（1年生を含む場合は8人以下）で複式学級とする」という基準によるものです。来年度以降も昼生小学校の児童数は微減を続け、令和5年度の2・3年生が複式学級となったあとも、令和7年度には2・3年生と4・5年生とが複式学級になる見込みです。

複式学級になると、一人の担任が1つの教室で2つの学年の子供たちを担当することになります。学年をこえた学級集団となることで、「多様な考え方にふれやすくなる」「リーダー性や自主性・協調性が育ちやすい」「教え合いによる予習・復習がすすみ、学力の定着が向上する」などの長所も見込まれる一方で、「教師がそれぞれの学年を交互に教える“わたり授業”の場合、子どもが教師に直接指導をうける時間が少なくなる」などの短所も考えられます。そこで、昼生小学校学校運営協議会では「複式教育準備検討部会」を立ち上げて、先進校視察や複式教育の課題把握と市への施設設備・人的加配の要望、地域への学習ボランティア等の募集などを行ってきました。本校の教員も先進校視察を行ったり、複式教育についての研修や「わたり授業」の模擬授業を行ったりしながら準備を進めています。また、亀山市教育委員会でも「複式学級指導の手引き」を作成して市内小中学校へ配付するなど、亀山市全体でも複式学級対象校が拡大することへの対応を行っています。

現在のところ、来年度の新2・3年生の複式学級では、道徳・学活以外の教科での「わたり授業」をできる限り解消し、学年別に授業を行っていきたいと考えています。そのために、県や市に対して教員を増やしていただくよう要望しています。また、音楽・体育・図工については、それぞれの授業を低・中・高学年ごとに合同で、1名の教員が授業を行うことを考えています。保護者の皆さまにはどうかご理解をお願い致します。今後の状況等によっては、一部の教科で「わたり授業」を行う可能性があることもお知らせ下さい。

昼生小学校では、開校以来はじめての複式教育の開始という大きな転換期を迎えます。しかし、家庭・地域の皆さまと共に「心豊かなたくましい昼生っ子」を育てていきたいという思いは変わりません。これからも皆さまのご理解とご協力を、よろしくお願い致します。



# 授業参観と学級懇談会へのご参加 ありがとうございました！



2月8日(水)午後、本年度最後の授業参観と学級懇談会を行いました。感染症対策のため、参観は1家族につき原則2名まで、学級懇談会は1家族1名での参加に制限させていただきました。保護者の皆さまには、ご協力いただきありがとうございました。また、あわせて、現1年生による「新1年生を迎える会」と、新入児童の学用品販売も行われました。新入児童を案内する1年生の姿に、この1年間の成長を実感しました。参観後の学級懇談会では、子どもたちの日頃の様子やPTA・学校への要望、来年度の学級委員の選出などが行われました。今後とも、PTA活動へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

1年生 新1年生を迎える会



2年生 国語



3年生 道徳



4年生 総合



5年生 学活



6年生 道徳



## ボランティア 募集中



現在、昼生小学校では「図書館活動、本の読み聞かせ等」「学級園の整備、植木の剪定等」「花の栽培(飼育栽培委員会の補助)等」で、学校ボランティアの方々にお世話になっています。これらに加えて、複式教育の始まる来年度からは「わたり授業や合同授業等での学習活動の見守り」のボランティアにもご協力いただけないかと考えています。

どれも無償の活動ではありますが、子どもたちとの繋がりが深まったり、やりがいや自己実現につながったりする活動でもあります。また、多くの方に関わっていただくことで、子どもたちと地域とがふれあい、社会性を育むことにもつながっていきます。資格等は必要ありません。できる時にできる範囲で活動していただければ十分です。

興味のある方や申し込みいただける方は、ぜひ下記の「問合せ・申込先」までご連絡下さい。なお、学校ボランティアの募集につきましては、2月1日付の募集チラシを地域回覧にて配付していますので、そちらもご覧ください。たくさんの申込をお待ちしています。

問合せ  
申込先

昼生小学校(0595)82-1007  
担当 CS事務員:篠原、教頭:楠井 まで